

一般演題(口演)

7月8日(土) 11:30~12:30 第1会場(2号館4階460大講堂)

一般演題(口演) 1 (01-1~01-4)

厳選セッション1

座長:後藤 伸之(福井大学医学部附属病院薬剤部)

- 01-1 ニューキノロン系抗菌薬による薬剤性QT延長に対する他剤併用の影響
松尾 純(信州大学医学部附属病院薬剤部,信州大学大学院医学系研究科)
- 01-2 医薬品情報資材審査局の設置とレギュレーションマイスター認定制度の実施
松枝 英弘(株式会社ファーマインターナショナル医薬品情報資材審査局)
- 01-3 内服薬処方せんの記載方法の標準化に至る長期的方策への対応
野村 浩子(一般社団法人徳洲会薬剤部)
- 01-4 糖尿病患者における服薬アドヒアランスと患者のパーソナリティ特性に関する横断調査
富永 佳子(慶應義塾大学大学院薬学研究科病院薬学講座)

7月8日(土) 11:30~12:30 第2会場(1号館B1階マルチメディア講堂)

一般演題(口演) 2 (02-1~02-4)

厳選セッション2

座長:村井 ユリ子(東北医科薬科大学)

- 02-1 薬剤師主導の生化学検査に基づく情報提供~一般市民の健康状態にもたらす影響~
猪川 和朗(広島大学大学院臨床薬物治療学)
- 02-2 関節リウマチ患者の治療効果に及ぼす服薬アドヒアランスの影響
中川 俊作(京都大学医学部附属病院薬剤部)
- 02-3 熊本地震で応需した災害用処方箋の疑義照会分析 穴見 江梨子(白川水源薬局)
- 02-4 臨床現場で薬剤師がEBMを実践するための情報リテラシー向上への取り組み
西田 麻以(公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院薬剤部)

7月8日(土) 11:30~12:20 第4会場(2号館3階351講義室)

一般演題(口演) 3 (03-1~03-4)

医療コミュニケーション

座長:千崎 康司(名古屋大学医学部附属病院薬剤部)

-
- 03-1 ビジュアル・アナログスケールを用いた「妊娠と薬相談外来」の評価
西村 あや子(北海道大学病院薬剤部)
-
- 03-2 疑義照会を紹介する患者向け動画への医療従事者からの評価
玉木 啓文(東京大学大学院薬学系研究科)
-
- 03-3 糖尿病治療薬のRMPリスク最小化活動として作成された患者向け資材の構造解析
谷藤 亜希子(神戸大学医学部附属病院薬剤部)
-
- 03-4 Q&Aサイト「YaQuu(ヤキュー)」によるナレッジ共有の取り組み 第2報
石塚 園子(株式会社フォーチュンヘルスサイエンス担当)
-

7月8日(土) 11:30~12:20 第5会場(2号館2階251講義室)

一般演題(口演) 4 (04-1~04-4)

医薬品情報業務・その他

座長:高柳 理早(東京薬科大学薬学部臨床薬効解析学教室)

-
- 04-1 医薬品情報の利活用を目的としたウェブアプリケーションの構築
永田 健一郎(九州大学病院薬剤部)
-
- 04-2 企業くすり相談窓口における医薬品の情報提供について
和田 年記(日本製薬工業協会くすり相談対応検討会)
-
- 04-3 医薬品情報担当者の研究教育能力を高める研修プログラムの開発
~キックオフの成果~ 橋本 貴尚((公財) 仙台市医療センター仙台オープン病院薬剤部)
-
- 04-4 薬剤師を雇用する企業を感じる中途採用者の教育・育成の現状と課題
十河 美香((株) リクルートメディカルキャリア)
-

7月9日(日) 13:20~14:10 第4会場(2号館3階351講義室)

一般演題(口演) 5 (05-1~05-4)

適正使用

座長:大谷 壽一(慶應義塾大学薬学部)

-
- O5-1 当院における運転等禁止・注意医薬品の使用実態
一澤 里枝(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部)
-
- O5-2 シスタチンC測定によりALS患者の腎排泄型薬剤過量投与を回避した一症例
野々内 裕紀(関西電力(株) 関西電力病院薬剤部)
-
- O5-3 グレープフルーツジュースと医薬品の相互作用に対する患者の認識度調査
東島 彩香(東ファーマシー株式会社ゆうゆう薬局)
-
- O5-4 処方提案時に用いる情報源とその提案内容に関する後ろ向き調査
金井 紀仁(医療法人社団青葉会新座病院薬剤科)
-

7月9日(日) 13:20~14:10 第5会場(2号館2階251講義室)

一般演題(口演) 6 (06-1~06-4)

地域医療、医療連携、医療安全

座長:中嶋 幹郎(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

-
- O6-1 離島住民へのお薬説明会・相談会の実践
かかりつけ薬剤師・薬局へのアプローチ(2)- 平山 匡彦((一社)長崎県薬剤師会)
-
- O6-2 医薬分業制度における医療機関と薬局のサービス品質評価と継続意志の
関連モデルの検討 櫻井 秀彦(北海道薬科大学薬事管理学分野)
-
- O6-3 薬局におけるインシデント事例の集積データの解析から見える傾向
佐藤 直子(コクリーボ(株))
-
- O6-4 旭川赤十字病院における入院患者の睡眠導入剤の使用状況と転倒事例の調査
下道 一史(旭川赤十字病院薬剤部)
-

7月9日(日) 13:20~14:10 第6会場(2号館1階151講義室)

一般演題(口演) 7 (07-1~07-3)

医薬品情報学の教育

座長:小林 道也(北海道医療大学薬学部)

- 07-1 病院の実務実習における学習成果基盤型教育でのEBM実践の取り組み
増田 信一(東邦大学医療センター大橋病院薬剤部)
- 07-2 承認時臨床試験成績に基づく医薬品添付文書情報の評価:エボロクマブを例に
渡辺 史也(明治薬科大学薬物治療学教室)
- 07-3 医薬品情報リテラシー向上のための情報ソースとしての薬局ヒヤリ・ハット事例の
分析
山田 耕司(一般財団法人日本医薬情報センター)

7月9日(日) 13:20~14:10 第7会場(2号館1階152講義室)

一般演題(口演) 8 (08-1~08-4)

副作用研究・EBM

座長:高田 充隆(近畿大学薬学部)

- 08-1 病棟薬剤師記録のキーワード検索による副作用情報抽出の取り組み
延藤 勇(一般財団法人住友病院薬剤部)
- 08-2 FileMakerを用いた薬剤師介入事例の集積とプリアボイド報告促進に向けた
取り組み
後藤 貴樹(島根大学医学部附属病院薬剤部)
- 08-3 プリアボイド未然回避報告の変遷と傾向~薬学的ケアを中心に~
笠原 英城(日本病院薬剤師会医薬情報委員会プリアボイド評価小委員会)
- 08-4 機能性表示食品の科学的根拠となる臨床試験に対する質評価
池谷 怜(静岡県立大学薬学研究院医薬品情報解析学講座)

一般演題(ポスター)

ポスター会場(1号館3階多目的ホール)

- 示説時間 [演題番号 P1-1~P9-6] 7月8日(土) 17:10~18:00
●示説時間 [演題番号 P10-1~P17-5] 7月9日(日) 11:30~12:20

一般演題(ポスター)1 (P1-1~P1-6) (示説時間:7月8日(土) 17:10~18:00)

副作用研究(データベース研究、症例報告、プレアボイドを含む) 1

座長:内倉 健(昭和大学薬学部病院薬剤学講座)

- P1-1 ミカファンギンナトリウムの関与が疑われる免疫性溶血性貧血を発症した一例
堀江 美弥(滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部)
- P1-2 金沢大学附属病院における副作用等報告に関する問題点の抽出及び今後の課題
川上 貴裕(金沢大学附属病院薬剤部,金沢大学附属病院先端医療開発センター)
- P1-3 非弁膜症性心房細動患者における新規経口抗凝固薬とワルファリンの出血リスクの比較
田中 侑希(近畿大学薬学部)
- P1-4 副作用用語の網羅的マッピング技術による有害事象自発報告の既知未知分類
多門 啓子((株)京都コンステラ・テクノロジーズ)
- P1-5 院内副作用事例収集方法の改善に向けた取り組み
天本 翔子(長崎大学病院薬剤部)
- P1-6 バレニクリンによる禁煙治療中に発現する自殺関連事象報告数の時系列推移とその特徴
脇山 春菜(城西大学薬学部)

一般演題(ポスター)2 (P2-1~P2-6) (示説時間:7月8日(土) 17:10~18:00)

副作用研究(データベース研究、症例報告、プレアボイドを含む) 2

座長:村井 ユリ子(東北医科薬科大学)

- P2-1 抗精神病薬服用による脂質異常症のリスクに関する研究
福嶋 恵里(近畿大学薬学部臨床薬剤情報学分野)
- P2-2 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度に関する調査
川崎 裕子(埼玉県薬剤師会薬事情報センター)
- P2-3 高齢者のポリファーマシーによる副作用の現状とその特徴
渡邊 朱羽(名城大学薬学部医薬品情報学研究室)
- P2-4 有害事象別ポリファーマシーの実態調査
一有害事象自発報告データベースを用いて
丸野 なつみ(近畿大学薬学部)

- P2-5 睡眠剤による乳汁分泌障害のプロファイル解析—有害事象自発報告DBを用いて—
川崎 遥(近畿大学薬学部)
- P2-6 有害事象自発報告データベースを用いた抗リウマチ薬による二次発がんリスクの
検討
橋本 夏恵(近畿大学薬学部)

一般演題(ポスター)3 (P3-1~P3-6) (示説時間:7月8日(土) 17:10~18:00)
副作用研究(データベース研究、症例報告、プレアボイドを含む) 3

座長:飯原 なおみ(徳島文理大学香川薬学部)

- P3-1 JADERを用いた非BZ系睡眠薬による副作用発症患者の薬剤の使用実態調査
上野 杏莉(岐阜薬科大学病院薬学研究室)
- P3-2 JADERデータを基にした消化性潰瘍治療薬の肝関連障害発現リスクの比較検討
桑原 美果(東京女子医科大学東医療センター薬剤部)
- P3-3 国内自発報告データベース(JADER)を用いた腎関連有害事象発現に対する
原疾患の影響
鍋島 拓也(京都薬科大学臨床薬学教育研究センター)
- P3-4 FDA-AERSを用いたTNF- α 阻害薬による注射部位反応の検討
福田 昌穂(岐阜薬科大学医薬品情報学研究室)
- P3-5 JADERを用いた直接経口抗凝固薬の出血に関連する副作用の動態調査
小林 道也(北海道医療大学薬学部薬剤学講座(臨床薬剤学))
- P3-6 日本の有害事象自発報告データベースを用いた脂質異常治療薬併用時の有害事象
の解析
向井 淳治(大阪大谷大学薬学部実践医療薬学講座)

一般演題(ポスター)4 (P4-1~P4-6) (示説時間:7月8日(土) 17:10~18:00)
副作用研究(データベース研究、症例報告、プレアボイドを含む) 4

座長:小原 拓(東北大学病院薬剤部)

- P4-1 JADERを利用したベンゾジアゼピン系薬剤の有害事象の発症実態調査
吉原 味里(帝京平成大学薬学部薬学科)
- P4-2 健康食品の摂取に伴う有害事象を報告する際に必要な情報の検討
橋本 潮里(静岡県立大学薬学部医薬品情報解析学分野)
- P4-3 中央業務疑義照会の集積とプレアボイド報告—病棟業務プレアボイド報告との比較—
小橋 亮(北九州総合病院薬剤科)

P4-4 同種同効薬剤による副作用再発を防止するための起因薬剤・副作用・背景に関する
検討
橋本 安里沙(名城大学薬学部)

P4-5 薬物性末梢神経障害の早期発見のための危険因子及び自覚症状の探索
竹内 健悟(名城大学薬学部医薬品情報学研究室)

P4-6 簡易副作用報告書を用いた効率的な副作用抽出
佐々木 優(総合相模更生病院薬剤部)

一般演題(ポスター)5

(P5-1~P5-6)

(示説時間:7月8日(土) 17:10~18:00)

使用実態調査

座長:中村 敏明(大阪薬科大学)

P5-1 低用量アスピリンと抗潰瘍薬の併用に関する薬剤疫学的研究
左神 慶子(近畿大学薬学部臨床薬剤情報学分野)

P5-2 NDBオープンデータを用いたベンゾジアゼピン受容体作動薬の使用状況の解析
齋藤 充生(ヘヴィ研,JAPIC)

P5-3 当院における小児患者のレミフェンタニル使用状況の調査
阿部 誠也(医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部)

P5-4 米国医療用医薬品添付文書の妊婦・授乳婦の項記載要領改訂後の実態調査(2)
菱沼 加代子(国家公務員共済組合連合会虎の門病院薬剤部)

P5-5 塩化ストロンチウムの疼痛緩和、骨髄抑制に関連する因子の探索
大久保 欣一(名城大学薬学部薬学科)

P5-6 米国と日本における向精神薬の小児適応状況の比較
浅和 万衣果(慶應義塾大学薬学部薬学科医薬品開発規制科学講座)

一般演題(ポスター)6

(P6-1~P6-6)

(示説時間:7月8日(土) 17:10~18:00)

RMP(リスクマネージメントプラン)・PMS・市販後調査

座長:笠師 久美子(北海道大学病院)

P6-1 薬剤師は、市販直後の医薬品のリスクから患者をどのように守るか?
幸田恭治(山口大学医学部附属病院薬剤部)

P6-2 抗癌性腫瘍薬の副作用記載の比較:RMP、適正使用ガイド、患者向け資材の
看護への活用
島田 かつり(国立がん研究センター中央病院看護部)

- P6-3 循環器系薬剤のRMPリスク最小化活動として作成された患者向け資材の構造解析
大野 能之(東京大学医学部附属病院薬剤部)
- P6-4 医薬品リスク管理計画(RMP)を副作用モニタリングに活用する上での問題点
越智 文也(山口大学医学部附属病院薬剤部)
- P6-5 新薬投与中の患者観察のための「リスク確認シート」の利用
日野 千恵子(山口大学医学部附属病院薬剤部)
- P6-6 リスク最小化活動に設定されている項目の実態調査
永野 靖典(公益社団法人東京都教職員三楽病院薬剤科)

一般演題(ポスター)7 (P7-1~P7-5) (示説時間:7月8日(土) 17:10~18:00)

医薬品情報業務1

座長:田中 守(愛媛大学医学部附属病院)

- P7-1 ASEAN諸国(タイ、シンガポール)と日本の添付文書の比較
高橋 侑里(慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座)
- P7-2 医薬関係者向けウェブサイトにした「製品別Q&A」の検索状況の分析
岩原 良晴(株式会社大塚製薬工場信頼性保証本部輸液DIセンター)
- P7-3 質疑応答集施設間共有の試み
宮下 貴浩(JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター薬剤部)
- P7-4 医薬品情報問い合わせデータベースの再評価
福田 正悟(慶應義塾大学病院薬剤部)
- P7-5 Academic Detailing:各国の現状調査とプログラム開発に向けたサイト構築
黒澤 光(昭和薬科大学医薬品情報部門)

一般演題(ポスター)8 (P8-1~P8-6) (示説時間:7月8日(土) 17:10~18:00)

医薬品情報業務2

座長:真野 泰成(東京理科大学薬学部)

- P8-1 薬局薬剤師における国立衛研「海外規制機関『医薬品安全性情報』」利用状況の調査
前田 初代(国立医薬品食品衛生研究所安全情報部)
- P8-2 医療機関専用グループウェア導入後の医薬品情報提供業務の実態に関するアンケート調査
伊藤 俊和(公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院薬剤部)

- P8-3 光センサーとタブレットPCを用いた店舗用医薬品情報提供装置の試作および評価
石原 聖也(千葉大学大学院融合理工学府)
- P8-4 当院の医師・薬剤師の添付文書に対する意識と院内電子医薬品集の活用実態の調査
松本 早苗(松山赤十字病院薬剤部)
- P8-5 ファーマシューティカルケアのための医薬品情報アプリケーションの評価
野中 優貴子(昭和大学薬学部薬剤情報学講座医薬情報解析学部門)
- P8-6 潜在意味の解析を用いた添付文書に基づく類似医薬品提案法の探索
菊池 美沙(東京理科大学薬学部)

一般演題(ポスター)9

(P9-1~P9-6)

(示説時間:7月8日(土) 17:10~18:00)

医薬品情報業務3

座長:丸山 順也(慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座)

- P9-1 選ばれる後発品とは~溶出試験と添加物から~
清水 絢子(薬局くすりの福太郎公団店)
- P9-2 医薬品情報を利用したドリペネム高用量投与の有効性・安全性の検討
松原 匡希(名古屋大学医学部附属病院薬剤部)
- P9-3 緩和ケアに関するウェブ情報の信頼性
藤原 香穂(名城大学薬学部)
- P9-4 国内外の患者向け医薬品情報サイトの accessibility 及び usability 評価
志村 侑里江(昭和薬科大学医薬品情報部門)
- P9-5 患者向医薬品ガイドのユーザーテストの実施方法に関する研究
佐藤 嗣道(東京理科大学薬学部)
- P9-6 NHK 健康情報番組が医療現場へ及ぼした影響に関する実態調査
鈴木 陽代(東京大学大学院薬学系研究科)

一般演題(ポスター)10

(P10-1~P10-5)

(示説時間:7月9日(日) 11:30~12:20)

適正使用

座長:前澤 佳代子(国際医療福祉大学薬学部・国際医療福祉大学病院薬剤部)

- P10-1 病棟薬剤業務日誌の薬剤師介入メモに基づいた薬学的介入内容の分析と評価
北村 英城(東京薬科大学薬学部医薬品安全管理学教室)

-
- P10-2 抗凝固薬適正使用のための情報共有～事例から見えてくること～
新沼 佑美((一財) 広南会広南病院薬剤部)
-
- P10-3 統合失調症患者の再入院と抗精神病薬投与量
岡田 宗一郎(摂南大学薬学部薬学科)
-
- P10-4 院内使用基準を用いたプラスグレルの適正使用支援に関する検討
小町 和樹(横浜総合病院薬剤科)
-
- P10-5 医薬品と活性炭との相互作用の回避のための投与設計法の構築と評価
中村 幸大(慶應義塾大学薬学部臨床薬物動態学講座)
-

一般演題(ポスター)11 (P11-1～P11-5) (示説時間:7月9日(日) 11:30～12:20)

適正使用・個別化医療

座長:川名 真理子(医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部DI科)

-
- P11-1 医薬品情報解析に基づいたオマリズマブの適切な投与設計法の開発
木村 耕二(東京薬科大学臨床薬効解析学教室)
-
- P11-2 『より安全な医薬品の使用を目指して』— 新規採用薬品における活動 —
長塚 元子(済生会熊本病院薬剤部)
-
- P11-3 2型糖尿病患者の初回受診理由の違いが治療等に与える影響
和田 奈緒夏(京都薬科大学臨床薬学教育研究センター)
-
- P11-4 バンコマイシン投与による副作用発現及び血中濃度とCYP遺伝子多型との
関連解析
山口 裕大(徳島大学薬学部 医薬品情報学)
-
- P11-5 ビンクリスチンによる副作用発現とMDR1遺伝子多型との関連性
大森 理央(徳島大学薬学部医薬品情報学)
-

一般演題(ポスター)12 (P12-1～P12-5) (示説時間:7月9日(日) 11:30～12:20)

未承認薬・薬品管理

座長:神村 英利(福岡大学病院)

-
- P12-1 未承認新規医薬品等評価部の運営について
高田 裕介(愛媛大学医学部附属病院未承認新規医薬品等評価部,薬剤部)
-
- P12-2 三重大学医学部附属病院における未承認等の医薬品の使用にかかる現状調査
菊谷 由里香(三重大学医学部附属病院薬剤部)
-

-
- P12-3 Web入力システムを用いた未承認等の医薬品使用に関連する情報収集の検討
石川 春樹(慶應義塾大学病院薬剤部)
-
- P12-4 医薬品管理モニタリングツールを活用した周術期における医薬品管理業務の効率化
石田 俊介(徳島大学病院薬剤部)
-
- P12-5 個別認証技術を用いたフェンタニル注射液の管理と院内流通の見える化
嶋田 努(金沢大学附属病院薬剤部)
-

一般演題(ポスター) 13 (P13-1~P13-6) (示説時間:7月9日(日) 11:30~12:20)

服薬指導・医療コミュニケーション

座長:中島 研(国立成育医療研究センター薬剤部/妊娠と薬情報センター)

-
- P13-1 患者の行動変容を目指した副作用セルフモニタリング用チェックシートの有用性評価
角山 香織(大阪薬科大学臨床薬学教育研究センター)
-
- P13-2 全盲患者への服薬支援のためのツール作成と利用評価
谷 孝之(ツルハ旭川日赤前店,ツルハ調剤運営本部)
-
- P13-3 服薬指導を支援するためのツール作成とその効果の検討
本木 祐太((株)ツルハ調剤薬局ツルハドラッグ宮城白石店)
-
- P13-4 センシティブな内容説明を含む患者コミュニケーションに関するアンケート調査
伊藤 忠明(虎の門病院薬剤部)
-
- P13-5 妊娠と薬情報センター相談外来の重要性
八楯 奈穂(国立成育医療研究センター薬剤部,妊娠と薬情報センター)
-
- P13-6 子宮頸癌ワクチンに対する専門家・一般消費者のリスク評価の相違
望月 里穂(千葉大学大学院融合理工学府)
-

一般演題(ポスター) 14 (P14-1~P14-6) (示説時間:7月9日(日) 11:30~12:20)

薬局・地域連携

座長:堀 里子(東京大学大学院薬学系研究科)

-
- P14-1 日本版薬局内組織風土質問票の開発
庄司 雅紀(大阪薬科大学臨床実践薬学研究室)
-
- P14-2 風邪様症状の生活者へのセルフメディケーション支援の現状とその対応への自信との関連
山下 啓太(大阪薬科大学臨床実践薬学研究室)
-

- P14-3 高血圧療養支援に対する薬局薬剤師の意識・自信及び「やりがい」と組織風土の関連
大山 夕貴子(大阪薬科大学臨床実践薬学研究室)
- P14-4 フィジカルアセスメント研修と保険医療材料研修を通して地域医療への参加を目指す
城向 邦彦(株式会社アカカベ調剤部)
- P14-5 薬局薬剤師の高血圧患者療養支援研究(COMPASS-BP)への参加による「やりがい」の変化
野田 瑠実(大阪薬科大学臨床実践薬学研究室)
- P14-6 薬薬連携による副作用情報の一元化管理へ向けた取り組み
本田 修一(国家公務員共済組合連合会熊本中央病院薬局)

一般演題(ポスター)15 (P15-1~P15-4) (示説時間:7月9日(日) 11:30~12:20)
セルフメディケーション

座長:横井 正之(パスカル薬局/(株)パスカルシステム)

- P15-1 OTC医薬品陳列方法と利用者の批判的思考が情報探索行動に与える影響
小山 慎一(筑波大学芸術系プロダクトデザイン領域,千葉大学大学院工学研究科)
- P15-2 ピクトグラムが一般用医薬品添付文書の誘目性と理解度に与える影響
朴 京子(千葉大学大学院工学研究科)
- P15-3 一般用医薬品の添付文書における情報探索時の視線運動の評価
鎌戸 敦子(慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座)
- P15-4 薬局薬剤師としてのアロマセラピーの関わり方の検討 一意識・現状に関する調査一
梅田 純代(北海道薬科大学社会薬学系医薬情報解析学分野)

一般演題(ポスター)16 (P16-1~P16-4) (示説時間:7月9日(日) 11:30~12:20)
薬学教育

座長:泉澤 恵(日本大学薬学部)

- P16-1 教育者をめざす学生を対象としたお薬講座によるアンチ・ドーピングの普及推進
池田 晴香(東京薬科大学薬学部一般用医薬品学教室(佐藤幸吉記念教室))
- P16-2 薬科大学における医療データ解析の教育基盤の構築
湧井 宣行(星薬科大学実務教育研究部門)
- P16-3 Goodman & Gilman's *The Pharmacological Basis of Therapeutics* の編集上の変遷
小清水 敏昌(順天堂大学医学部医史学研究室)

P16-4 注射薬の配合変化に関する資料への認識調査—三次資料のピットフォール—
續山 敬太(東邦大学医療センター大森病院薬剤部)

一般演題(ポスター)17 (P17-1~P17-5) (示説時間:7月9日(日) 11:30~12:20)
ベネフィット・リスク評価研究・その他

座長:中村 智徳(慶應義塾大学薬学部医療薬学部門)

P17-1 開発中医薬品の価値理解を促進する財務指標の薬剤師利用:医薬品情報と
正味現在価値 菅 愛子(慶應義塾大学大学院経営管理研究科)

P17-2 乳がんFEC100レジメンにおけるニューロキニン1受容体拮抗薬の
薬剤経済学的評価 中川 直人(奥羽大学薬学部)

P17-3 再生医療等製品における条件・期限付承認制度の運用の現状と今後の展望
野津 樹理(慶應義塾大学薬学部)

P17-4 カフェインに関する精神科医療スタッフおよび精神科外来患者の認識調査
出川 えりか(埼玉精神神経センター薬剤部)

P17-5 医薬品の第三者への転売・譲渡の違法性に関する消費者の意識調査
藤井 萌未(慶應義塾大学薬学部)
